

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2015年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

- (1) 招集所は、第1ゲート（フィニッシュライン側）外側に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取る。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所に用意した書類で届け出る。
 - ③ 招集開始時刻、終了時刻は種目、組によって異なるので、競技日程記載の招集時刻をよく見て招集に向かうこと。
 - ④ リレー競技は、オーダーの変更にかかわらず、その都度リレーオーダー用紙(招集所に用意)に1チームにつき1部記入し、1組目の招集完了時刻の1時間前までに、招集所(競技者係)に提出すること。提出のない場合は棄権とみなし、処理する。
 - ⑤ 混成競技の第2種目目以降の招集は、現地で行う。また、今大会は混成競技者控え場所は設けない。
 - ⑥ 招集完了時刻に遅れた競技者／チームは、出場できない。

3. 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順による。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、番組編成掲示板に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする（競技規則第167条2）。
- (4) 静岡県立大学は、今年度オープン（OP）参加として競技を行う。OPが行われない種目に関しては、対校種目にOP出場する。この場合、次のラウンドに進める順位・記録であっても他大学の選手を繰り上げる。

4. 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 - ④ 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
 - ⑤ スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
 - ⑥ 競技の打ち切りについて
以下の時間で、競技を打ち切る。
 - ・ 男子5000m：競技開始18分経過時、あと1周に到達していない競技者。
 - ・ 女子5000m：競技開始21分経過時、あと1周に到達していない競技者。

- ・ 男子 10000m：競技開始 36 分経過時、あと 1 周に到達していない競技者。
- ・ 男女 10000mW：競技開始 60 分経過時、あと 1 周に到達していない競技者。

(2) フィールド競技について

- ① 投てき競技の計測は光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。
- ② 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを 2 個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを 1 つだけ使用することができる。
- ③ 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
- ④ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ⑤ 三段跳の踏切板は、砂場から男子 12m、女子 9mの地点に設置する。

(3) 競技者は勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない(競技規則第 144 条 2(b))。競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。

(4) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色（スタート動作時については黄黒色）カード、除外は赤色（スタート動作時については赤黒色）カードを示すことによって競技者に知らされる。

(5) 棄権する者は、「棄権届」に必要事項を記入し、招集所（競技者係）に提出すること。その届け出た種目に限り棄権を認める（OP 競技はその際、棄権料 500 円を支払う）。

(6) ナンバーカードについて

- ① ナンバーカード（縦 20cm、横 24cm）は、各大学で準備すること。
- ② ナンバーカードの数字は、男子は黒、女子は赤で表示すること。
- ③ 跳躍種目については、胸、背の一方だけでもよい。
- ④ トラック競技はすべて、招集の際に配布する腰ナンバーカードを使用し、右腰やや後方に取り付けること。

5. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまで次のとおりとする（ただし天候等の状況により変更することもある）。

種目	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳（女）	1m35	1m40	5 cm ずつ	1m65	1m68	1m71	3cm
走高跳（男）	1m75	1m80	5 cm ずつ	2m00	2m03	2m06	3cm
走高跳（七種）	1m30	1m35	5 cm ずつ	1m45	1m48	1m51	3cm
走高跳（十種）	1m50	1m55	5 cm ずつ	1m85	1m88	1m91	3cm
棒高跳（女）	2m10	2m20	20cm ずつ	2m80	2m90	3m00	10cm
棒高跳（男）	3m40	3m50	20cm ずつ	4m20	4m30	4m40	10cm
棒高跳（十種）	2m70	2m80	20cm ずつ	3m60	3m70	3m80	10cm

6. 競技用具について

競技用具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいならない。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。

7. 競技用靴について（競技規則第 143 条 2・3・4・5・6 参照）

スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は 12mm以内とする。

いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

8. 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は電光掲示板で行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合には15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行う。さらに、この裁定に納得できない場合は、預託金（1万円）を添え、総務に文書で申し出る。

9. 表彰及び対校得点について

- (1) 各種目3位までの入賞者には、表彰状を授与する。表彰は競技終了してから約30分後に行うので該当するものは表彰係の指示に従うこと。
- (2) 対校得点は、1位8点、2位7点、3位6点、以下、5、4、3、2、1点とする。
ただし、エントリー数が8名未満の場合、1位（エントリー人数）点、2位（エントリー人数-1）点・・・とする。
- (3) 総合順位について、同点の場合は、上位入賞数の多い方を上位とする。

10. 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は救護室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (5) ユニフォームは各大学一種類のものに統一して着用すること。
- (6) 競技者の付き添いは一切認めない。従って、競技者以外は、トラックならびにフィールド内に立ち入る事はできない。
- (7) 器具破損の場合は、当該選手の所属大学より原状復帰費用を徴収する。
- (8) 集団応援の場所は、バック・サイドスタンドのみとする。
- (9) メインスタンドでのテント等の使用は禁止する。
- (10) ゴミは各自持ち帰ること。
- (11) 開場時刻は以下の通り。
第1日目 7:00 第2日目 7:00 第3日目 7:00
- (12) 記録証の発行を希望する場合は、大会本部に申し出ること（発行料金500円）

11. 練習場及び練習について

- (1) 前日練習は、補助競技場のみとする。
- (2) 大会当日の練習は、補助競技場、投てき練習場（円盤投、ハンマー投）、室内練習場のみとする。
ただし、室内練習場は審判控え場等で使用しているため安全に充分留意して行うこと。